

TSR情報 2026

夏季特集号

トライビュー・イノベーション株式会社

東京商工リサーチが厳選する優良企業紹介

「経営者に訊く事業特性と今後の成長戦略」及び
「社会に新たな価値を生み出す製品・サービス」

東京都「新設法人動向」調査
～25年は最多の4.9万社、起業者年齢は上昇～

東京都「中東情勢」に関するアンケート調査
～「マイナスの影響」が約7割に～

地区別利益（非上場）ランキング

TSR
TOKYO SHOKO RESEARCH

AIを“使う”から“生かす”時代へ 「バイブ清書」「AIリプレイス」で 企業DXを加速、最後の品質保証で支える

プログラムを書き、資料を作成するなど業務効率を飛躍的に高めた生成AI。しかし、その成果物であるプログラムをそのまま運用できるわけではない。セキュリティや品質を担保し、本番環境で安心して活用するためにはプロの技術が欠かせない。そこでトライビュー・イノベーション株式会社はAI、人それぞれの強みを生かし企業DXをさらに前進させる新サービス「バイブ清書」「AIリプレイス」を開始。その試みを聞く。



生成AIを活用した2つのサービスで企業のDXを支援

AI・DX支援を強化し 企業の変革を後押し

システム開発・運用からWeb制作、デジタルマーケティング、DX（デジタルトランスフォーメーション＝デジタル技術を活用し、ビジネスや生活を変革する取り組み）推進まで、企業のICT（情報通信技術）環境を一気通貫で支援するトライビュー・イノベーション株式会社。金融機関をはじめとする大規模システムで培った高い技術力を強みに、近年は生成AI（人工知能）を活用した新たなソリューション開発にも

注力。企業の課題に寄り添う「伴走型パートナー」として事業領域を広げてきた。

昨年は凄まじい勢いで精度が上がりつつある生成AIの活用支援をデジタルマーケティング支援と並ぶ柱として、企業のDX化を進めるうえでデザインしていく「DXデザイン部」を新設。消費者ニーズの多様化、製品ライフサイクルの短縮化、新型コロナウイルスの影響、働き方改革の推進など、激しく変化するビジネス環境下で企業が生き抜くために、戦略的にAIやDX推進へのサービスを充実させ実現してきた。

AIが作り、人が仕上げる 「バイブ清書」で実用化

その具体的な新サービスとして注目されるのが4月にリリースされた「バイブコーディング清書サービス（バイブ清書）」と「AIリプレイス」である。

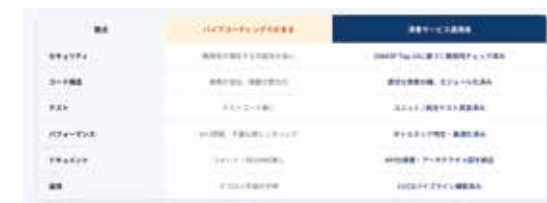
「バイブ清書」は、バイブコーディング（生成AIを活用したプログラム）で生まれた「動くものの品質やセキュリティに不安が残るコード」や「企画は良いが本番運用には耐えられないプロトタイプ（試作品）」を診断し、顧客の意図を汲みながら「実用に耐えるシステ



「バイブ清書」とは、AIが書いたプログラムをプロが清書し、本番環境まで責任を持つ



広報・マーケティングに携わる角田瑠衣氏（右）と、社長室室長の村松直哉氏



「バイブ清書」の概要



「AIリプレイス」の概要

ム」へと仕上げるサービスの一つ。

実際、生成AI技術の急激な進化により、「バイブコーディング」と呼ばれる新しいプログラミングスタイルが急速に普及、プロでなくても、アプリケーションやWebサービスのプロトタイプの作成が可能になってきた。

「ただ、どうすれば本番環境にアップすればいいかわからない。セキュリティが脆弱で本番環境での運用が不安。コードの品質をどこまで信用していいかわからない。途中で進んだものの技術的なハードルで止まっている——といった課題も浮き彫りになっています。そんな最後の部分をフォローするのが、この事業者向けサービス」と説明するのは社長室マーケティング担当の角田瑠衣氏。

「まずはお客様にヒアリングしてコードを診断。お見積もり後、AI生成コードを熟知したDXデザイン部のエンジニアチームがセキュリティ・パフォーマンス・保守性の観点からAIで作ったコードを本番品質に清書します」。

古いシステムを未来へつなぐ AI時代に求められる技術力

一方の「AIリプレイス」は、昔のプログラム言語で作られた現行システムを生成AIで解析、要件定義を自動生成し、最新のシステムを刷新するサービス。

経済産業省の試算によると、老朽化した基幹システムを放置した場合、最大12兆円／年の経済損失が生じる可能性があるとされている。ただ、システムをリプレイスしようとしても、従来は2～5年、数億～数十億円規模の大型プロジェクトになることが多く、二の足を踏む企業も多かった。

そんな中、同社は生成AIを活用した移行アプローチを開発。移行期間を従来の1/3に、コストも最大60%削減を実現した。

「当社は設立14年目ですが、プレスリリースを出したのは初。お陰様で新聞各社、サイトなど多くの媒体でご紹介いただきました。また、発表したサービスに限らず、生成AIを活用するうえでのサポートをしてほしいといった引き合いもいただいています」と、

生成AIに力を入れる同社を強く印象付ける効果もあったと、社長室の村松直哉室長は補足する。

さらにはこの新サービス以外に、DXデザイン部専用のサイトを立ち上げ、その中でDXをAIを使って取り組むといった動きも。「AIをどう活用すれば業務効率化できるかといった研修や、週単位でどんどんAIが変わっていくことから毎月の保守・サポートを依頼されるケースもあります」

今やAI技術を活用したビジネスモデルの確立、競争力を高める取り組みは必至。AI検索で引用されるサイトづくり、FAQ設計（顧客が抱える疑問を自己解決できるよう「よくある質問とその回答」を整理・構築するプロセス）など、生成AI時代のデジタルマーケティング支援にも余念がない。AIだけでは解決できない課題を、人の技術で補完する——。AI時代に企業が本当に求める伴走型支援こそ、同社の大きな価値といえるだろう。

TSRコード: 29-466288-0
トライビュー・イノベーション株式会社
URL: <https://www.triview-innovation.com/>
お問合せ先: 03-5643-8477